



株式会社竹内製作所

第63期 中間報告書

2024年3月1日-2024年8月31日



証券コード 6432

世界初から世界のTAKEUCHIへ。私たちは、世界の工事現場で活躍する小型の建設機械を製造しています

欧州での主力商品

機動性が高く小回りが利くので、狭い道が多い欧州の都市で活躍。



北米での主力商品

雨でぬかるんだ場所での作業安定性が高く、粘土質の土地が多い北米で人気を獲得。



■ 北米 ■ 欧州 ■ 日本 ■ アジア・その他

2025年2月期 上期実績

欧州シェア2位

売上437億円

北米シェア5位

売上629億円

※自社調べ

こんな現場で活躍



住宅建設



インフラ整備



除雪作業



災害復旧(能登半島地震災害復興支援ボランティアでも活躍)

特長1 あらゆる現場に対応できる **TAKEUCHI** 品質でファンを獲得

パワフル



都市型工事に対応できる
十分なパワー、掘削量

耐久性



厳しい環境・条件で
長時間作業しても
壊れにくい

操作性



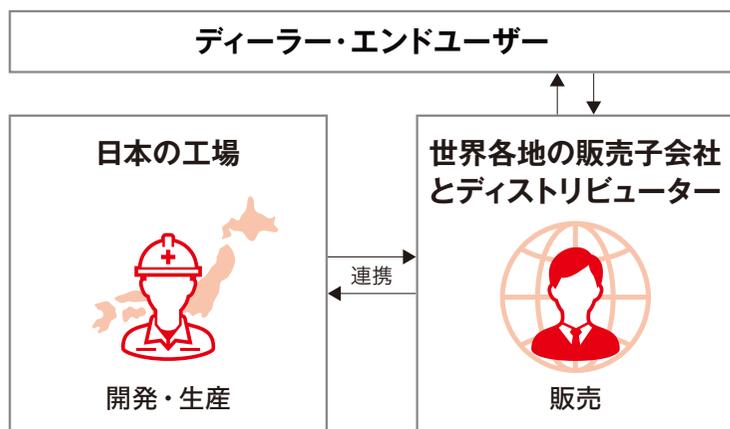
オペレーターを問わず
意のままに
コントロール可能

快適性



広い居住空間・快適なシートなど
疲れにくい運転環境を
整備

特長2 世界各地のニーズに対応する
開発・生産・販売体制



特長3 世界中に広がる販売チャンネル





代表取締役社長
竹内 敏也

衣食住の「住」に 深く関わり、持続的な 社会の発展に貢献

もう一つの主力市場である欧州では、経済が低迷しており、生活費や住宅ローン金利の上昇が消費者の購買力を弱め、住宅市場が低調なまま推移しました。

足元の事業環境は低調ではありますが、住宅関連工事や生活インフラ整備工事、官民の建設投資において当社製品が広く使用されています。特に、衣食住の「住」に深く関わる当社製品は、エッセンシャルな事業において不可欠であり、中長期的に安定した需要の拡大を見込んでいます。

◀ 当上期の業績については いかがでしたでしょうか。

北米では、油圧ショベルの販売が好調であった一方、ミニショベルやクローラーローダーの販売は伸び悩みました。クローラーローダーは、買入部品に不具合があり、一部の出荷が第3四半期にずれ込んだためです。

欧州では、住宅需要の低迷や非住宅関連の建設工事の縮小が、建設機械の需要減少につながっています。

◀ 当上期の事業環境について お教えてください。

当上期(2024年3月1日から2024年8月31日まで)の事業環境について、当社グループの主力市場の一つであ

る北米では、金利の高止まりにより住宅着工件数の調整局面が続いていますが、人口の増加に対する慢性的な住宅不足を背景に潜在的な住宅需要は根強く、足元では持ち直しの動きも見られます。

第三次中期経営計画のポイント

(2023年2月期-2025年2月期)

数値目標

売上高	2,400億円
営業利益	240億円
1株当たり当期純利益	377.00円
ROE	14.0%

基本方針

パワーアップ	スピードアップ	スケールアップ
重点施策 1 人的資本への投資 増員・賃上げなどの 人的資本への投資額を 増やし続ける	2 製品開発の加速 顧客満足度を 向上させつつ、自動運転や 電動化の技術開発を推進	3 生産能力の増強 米国と長野県青木村に新しい工場を設立 4 販売網の拡充とアフターパーツの拡販 欧米における安定的な収益基盤の確立へ
5 サステナビリティ経営の推進		
CO ₂ 排出量削減、労働災害防止、研修の強化、 育児との両立、女性活躍推進に向けた施策を実施		

第三次中期経営計画の進捗についてお教えてください。

当社グループは現在、第三次中期経営計画に取り組んでおり、当期はその最終年度となりました。

生産能力の増強については、2022年9月からセミノックダウン方式によりクローラーローダーの生産を開始した米国サウスカロライナ州の工場に続き、2023年9月には長野県小県郡青木村の青木工場において、4トンから9トンのミドルクラスのショベル生産を開始しています。当中期経営計画での生産能力目標を2024年8月末に達成し、既存の本社工場と合わせた生産能力は概ね1.5倍となりました。

これまで当社は、多くのご注文をいただきながらも、生産能力の不足によりお客様をお待たせするなど、ご迷惑をおかけいたしました。増強した生産能力をフルに活かした今後の拡販に向けて、積極的な販売活動を展開しており、販売網の拡充に取り組んでいます。

2025年2月期の通期の見通しについてお聞かせください。

期初の業績予想においては、北米では根強い住宅需要や老朽化した生活インフラの改善、政策的な建設投資の拡大などを背景に、販売台数の大幅な増加を見込んでおりました。一方、欧州では長引く物価高による個人消費や住宅需要の低迷、さらに地政学的な緊張の高まりなどにより、住宅関連工事で使用されるミニショベルの販売台数が減少すると予想していました。

上期においては、欧州のみならず北米でも市場全体で建設機械の需要が減速し、当社グループの販売台数は欧

米ともに想定を下回りました。下期に関しても、欧米における製品需要は上期と同程度の水準で推移すると予想しています。ただし、北米においては、買入部品の不具合によりクローラーローダーの一部販売が下期にずれ込んでいることや、新規顧客の獲得などの営業努力により、販売台数は上期を上回ると見込んでいます。欧州では、英国とフランスの販売子会社での持ち直しを期待していますが、欧州全体の販売台数は上期と同程度になると予測しています。

これらの状況を踏まえ、2025年2月期の通期販売台数は、北米で前年比1.6%の増加、欧州では14.9%の減少、全体では8.6%の減少を見込んでいます。通期連結業績予想の売上高は、販売台数減少の影響で、前回予想を下回るものの、海上運賃の減少や円安の影響により、利益面では前回予想を上回る見込みです。

業績予想

売上高	2,155億円 (前期比 1.4% ▲)
営業利益	445億円 (前期比 26.1% ▲)
経常利益	420億円 (前期比 18.5% ▲)
親会社株主に帰属する当期純利益	300億円 (前期比 14.7% ▲)

下期想定レート
USD 138.0円 GBP 179.0円 EUR 152.0円 RMB 19.30円

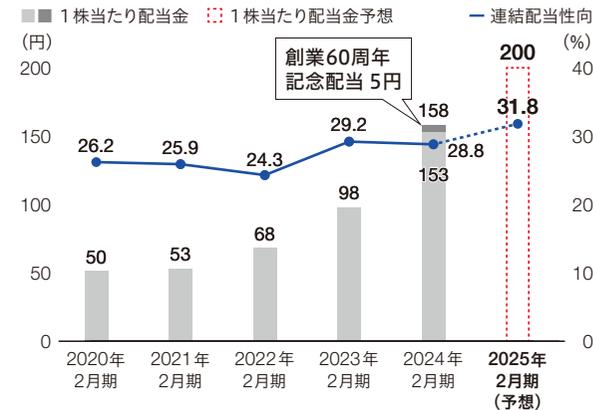
最後に、株主の皆様へのメッセージをお願いいたします。

当社グループの製品は、衣食住の「住」に深く関わり、欧米各国における住宅関連工事、生活インフラ整備工事、建設投資だけでなく、災害復旧でも大きな役割を果たしています。今年1月に発生した能登半島地震の災害復旧では当社建設機械とオペレーターを派遣し、現場でがれきや津波で打ち上げられた船舶、車両の除去を行いました。

最後に、株主様への還元についてですが、当社は「連結配当性向30%を目安として、安定した配当の継続に努める」ことを基本方針としており、今期の期末配当予想を1株当たり200円としました。また、当社の株価は割安であると認識しており、株主様の期待に応えるため、自己株式の取得を決定しました。

株主の皆様におかれましては、一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

1株当たり配当金、連結配当性向の推移



連結財務ハイライト

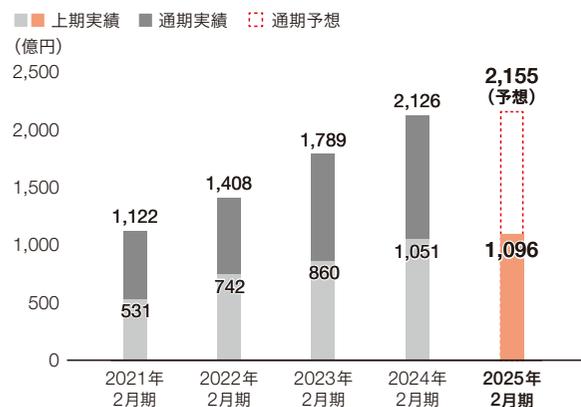
決算のポイント

1 米国では住宅着工件数の調整局面が続いており、ミニショベルの販売が伸び悩みました。クローラーローダーの販売におきましても、需要は強いものの一部出荷が下期にずれ込んだ影響により、前期比で減少しました。

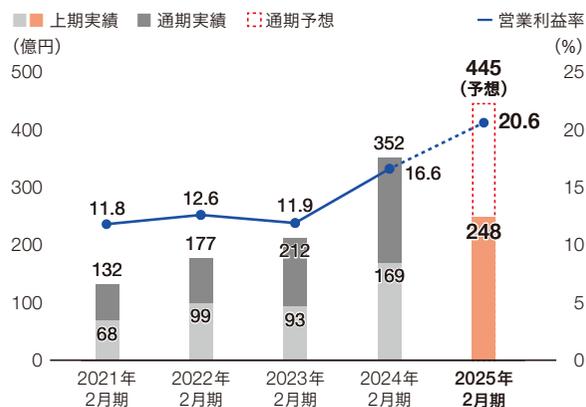
2 欧州では生活費の上昇により住宅需要が低迷しており、ミニショベルの販売が大きく減少しました。クローラーローダーの販売は前期比で増加しており、その利便性の高さが認知され始めています。

3 販売台数の減少により、売上高は想定を下回りましたが、為替の円安影響と海上運賃の軟化により、各段階利益は想定以上の伸びとなりました。

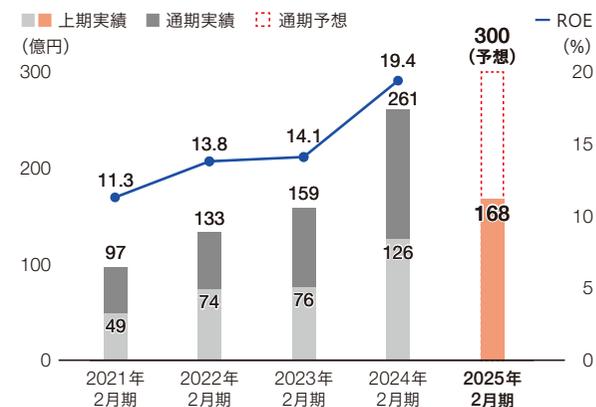
売上高



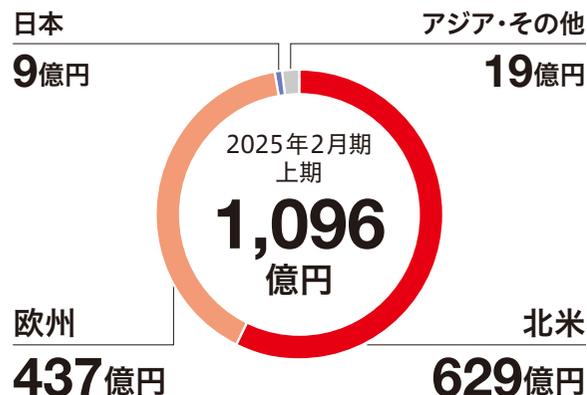
営業利益・営業利益率



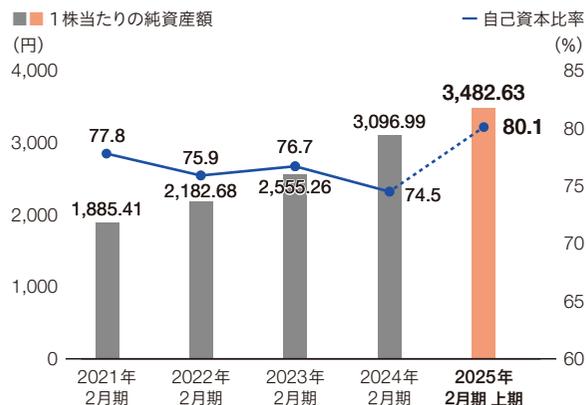
親会社株主に帰属する当期純利益・ROE



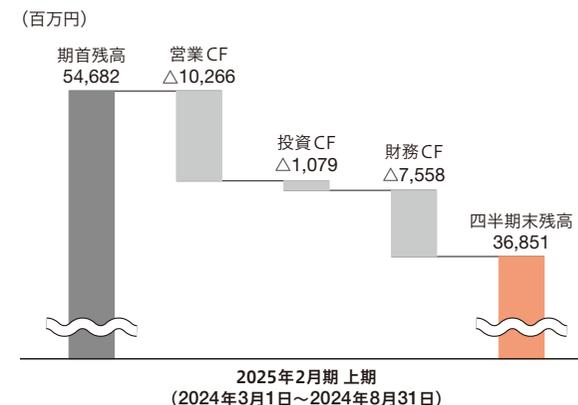
地域別売上高



1株当たりの純資産額・自己資本比率



キャッシュ・フロー



重点
施策 **4** 販売網の拡充とアフターパーツの拡販

12.7万人が来場する建設機械展示会「INTERMAT」に出展

当社グループは、2024年4月24日から27日にかけてフランス・パリで開催された建設機械展示会「INTERMAT」に出展し、成功を収めることができました。フランスは欧州の中でも有数の親日国と知られていることから、展示ブースは和をモチーフにしたデザインとしました。新製品を含むフランス向け販売モデルのほぼ全てを展示したところ、多くの来場者が足を止め、Takeuchiスタッフとの意見交換や商談が活発に行われました。これにより、フランス市場での販売促進や新製品の紹介、そして当社の存在感を強くアピールする絶好の機会となりました。

特に注目を集めたのは、リチウムイオン電池式ミニショベル(TB20e)のラジコン操作によるデモンストレーションです。オペレーターが建設機械に乗車せず機械を動かすこの製品は、オペレーターの安全を確保できるため、トンネル工事や崖ぎわでの作業、倒壊した建物の撤去など、危険な現場での需要が見込まれています。モデル展示による製品紹介だけでなく、このデモンストレーションを行ったことで当社の技術力を強くアピールできました。



展示会の様子



和をモチーフとしたブース

重点
施策 **2** 製品開発の加速

都市部での機動性を追求した新型ホイール式油圧ショベル『TB370W』販売開始

新たに販売を開始した7トンクラスのホイール式油圧ショベル『TB370W』は、都市部での作業に特化した、コンパクトで機動力に優れたモデルです。これは、10トンクラスの『TB395W』に続く当社2機種目のホイール式油圧ショベルであり、工事現場まで自走して移動できる機動力が特長です。複数の現場への移動が必要になる場合や、道路工事、除草、除雪など移動しながらの作業に適しており、特に都市部での需要が高まっています。欧州の都市部では、建物が密集している地域や、景観を維持するため古い建物が残されている狭小地での作業が多く、既存モデルよりも小型で機動性に優れた製品が求められています。『TB370W』は、そうしたお客様のニーズに応えるために開発されました。

また、『TB370W』は「標準」「ECO」「ECOプラス」の3つの作業モードが選択でき、特に「ECOプラス」モードでは作業負荷に応じて標準モードとECOモードを自動的に切り替えることで、標準モードと比べて燃費を改善します。さらに、遠隔監視システムであるTFM (Takeuchi Fleet Management) により、故障や盗難にも即座に対応可能です。



TB370W



広々とした運転席

商号 株式会社竹内製作所
(英文社名) TAKEUCHI MFG. CO., LTD.
本社 〒389-0605
長野県埴科郡坂城町上平205番地
設立年月日 1963年8月21日
資本金 3,632百万円
事業内容 建設機械の開発、製造及び販売
従業員数 1,265名(連結)

役員の状況

代表取締役会長 竹内 明雄
代表取締役社長 竹内 敏也
取締役 渡辺 孝彦
取締役 Clay Eubanks
取締役 小林 修
取締役 横山 浩
取締役(常勤監査等委員) 草間 稔
社外取締役(監査等委員) 小林 明彦
社外取締役(監査等委員) 岩渕 道男
社外取締役(監査等委員) 宮田 裕子
社外取締役(監査等委員) 織 英子

拠点情報

国内 本社工場 長野県埴科郡坂城町
青木工場 長野県小県郡青木村
戸倉工場 長野県千曲市
東京営業所 東京都港区
海外 米国 TAKEUCHI MFG.(U.S.), LTD.
英国 TAKEUCHI MFG.(U.K.)LTD.
フランス TAKEUCHI FRANCE S.A.S.
中国 竹内工程機械(青島)有限公司
ドイツ 欧州駐在員事務所
オランダ 欧州パーツセンター

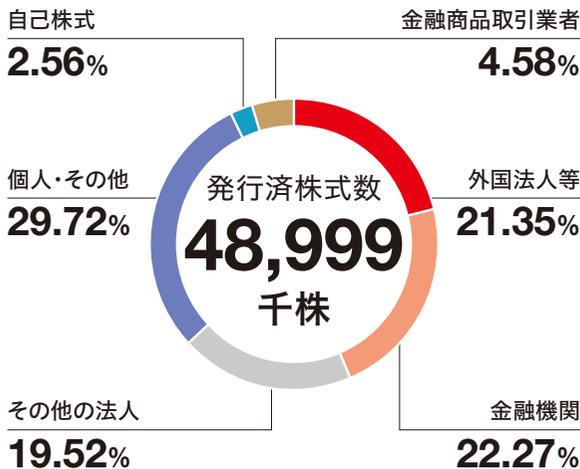
発行可能株式総数 138,000,000株
発行済株式の総数 48,999,000株
単元株式数 100株
株主数 29,843名

大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	5,255	11.00
株式会社テイク	5,159	10.80
竹内敏也	2,655	5.56
株式会社日本カストディ銀行	2,555	5.35
東京中小企業投資育成株式会社	1,803	3.77
公益財団法人 TAKEUCHI 育英奨学会	1,503	3.14
竹内好敏	1,500	3.14
株式会社八十二銀行	1,440	3.01
株式会社SBI証券	1,036	2.17
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505001	967	2.02

※持株比率は、自己株式(1,254,029株)を控除して計算しております。

株式分布状況(所有者別)



株主メモ

事業年度	毎年3月1日から翌年2月末日まで
定時株主総会	毎年5月
基準日	毎年2月末日 その他必要あるときは、あらかじめ公告いたします。
配当金受領株主確定日	毎年2月末日 (中間配当を実施するときは8月31日)
公告方法	電子公告により、当社ホームページに掲載いたします。 https://www.takeuchi-mfg.co.jp/ ただし、事故その他のやむを得ない事由により電子公告ができないときは、日本経済新聞に掲載する方法により行います。
株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
(同連絡先)	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 TEL 0120-232-711(通話料無料)
(同郵送先)	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号

(ご注意)

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にでもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

WEBサイトのご紹介

当社WEBサイト
<https://www.takeuchi-mfg.co.jp/>
竹内製作所の新着情報や、企業情報・IR情報などを掲載しています。
分かりやすく、当事業を紹介しているページ(TAKEUCHIってどんな会社?)や、会社紹介ビデオもありますので、ぜひご覧ください。

